

1061

軍機

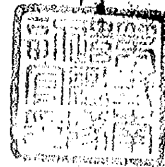
第三南遣艦隊機密第八號

昭和十七年

一月三十一日

7/10

一月十日送付



第三南遣艦隊戰時日誌

第三南遣艦隊司令部

目次

一 經過

二 人員ノ現狀

三 令達報告等

四 參考

(1) 麾下艦船部隊

(4) 戰訓

五 作戰經過概要

(終)

自昭和十七年一月三日
至同月三十一日 第三南遣艦隊戰時日誌

作戰及一般部

一 經過

(1) 一般情勢及敵軍情勢

機密蘭印(菲島)部隊命令第三號ノ通

(2) 任務編制及配備

一月三日附第三南遣艦隊編成セラレ 菲島部隊トシテ從

來ノ第三艦隊 菲島方面海域ノ作戰及海上交通保

護ノ任務ヲ繼承シ且局地ノ警備ニ任スルト共ニ陸軍

ト協同シ逐次菲島ノ殘敵掃蕩ニ任ントス

(一) 艦隊區分

隊名		隊番號	艦船 (隊部隊) 番號
二三一	口球磨	二三一	
二三二	八重山	二三二	
二三三	伊三砲艦隊 (南浦丸 (2) 水曾丸 (3) 阿蘇丸)	二三三	

(二)

東 菲 部 隊 島		主 隊	區 分	軍 隊 區 分			附 屬	第 三 十 二 特 別 根 據 地 隊	第 三 十 一 特 別 根 據 地 隊
口 3KF			指 揮 官					二 三 四	二 三 五
口 32B7		球 塵	兵 力	第 百 三 十 一 共 同 丸	第 百 三 軍 需 部	第 百 三 工 作 部	第 二 測 量 隊	第 三 十 二 特 別 根 據 地 隊	第 三 十 一 特 別 根 據 地 隊
第 三 十 三 通 信 隊 第 一 分 遣 隊		全 作 戰 ノ 支 援	主 要 任 務	第 百 三 經 理 部	第 百 三 病 院				
第 三 十 三 通 信 隊 第 一 分 遣 隊		一 タオ、レカスビ、ホロ、確 保 ニ マララグ、泊 地、防 備 三 菲 島 東 側 海 面、海 上 交 通 確 保							

<p>菲島 西部部隊</p>	<p>附屬部隊</p>
<p>P 31B7</p>	<p></p>
<p>31B7、349、八重山、530kg 第三上通信隊第二分遣隊</p>	<p>第三上共同丸、第二測量隊 さるいす丸、第百三軍需部 第百三經理部、第百三作部 第百三病院</p>
<p>一陸軍ト協同「マニラ」湾方面を以テ 湾ヲ念々以下做之殘敵掃蕩 ニマニラ湾方面水路啓開及湾内清掃 三マニラ湾方面根據地設定及海面防備 四リガエニ湾ノ防備 五、菲島西側海面、海上交通保護</p>	<p>測量補給、工作、医療其他 各個有任務</p>

月十五日第四十六掃海隊（五十二播州丸、五十六播州丸、五十二長運丸、五十一長運丸）菲島部隊ニ編入セル

（南方部隊電令第六十六號）

二十日「スピック」湾水路啓開中五十二播州丸、阿蘇丸、觸

島岸ニ擱坐スル止ムナキニ至レリ

✓(一) 作戰指導

一月三日第三南遣艦隊編制セラルルモ麾下部隊ヲニテ

菲島方面現作戰任務續行ヲ發令シ菲島部隊指揮

官及幕僚ノ一部ハ一月五日東京發急遽高雄ニ進出

同六日高雄ニ於テ旗艦球磨ニ東艦作戰ヲ指導ス

同七日敵首都マニラ陥落ノ報ニ接シ空路ヲマニラニ進

出陸上ニ司令部ヲ設置シマニラニ方面根據地設定ス

ニ現地ニ於ケル作戰指導ニ任ズ

同十八日ロスボック灣水路啓開作戰開始スルヤ同二十

四日コリンガエニ灣ニ於テ旗艦球磨ニ東艦作戰指揮

ニ任ズ

(二) 戰備及政策事項

コリンガエニ灣基地ニ對シ防備海面ヲ設定シ軍需品ノ

輸送ニ海上部隊洩地ヲラシム

ニコルス・フィールド航空基地ヲ整備擴張シ航空作戰

基地及南方航空作戰中継基地トス

一、人員、現状
 二、司令部
 三、職員官氏名
 四、キヤビテ、舊米海軍基地、急速復舊ニ着手其、他、マ
 ニラ、方面根據地施設ノ設定ニ着手
 五、根據地施設ノ設定及復旧工事、押收船舶舟艇束
 六、員、糧食現地調辦等ニ關シ現、民ヲ使役ス
 七、特ニ、キヤビテ、艦船修理工場ノ復舊整備工事ニ伴
 八、ヒ、舊米海軍工場使役ノ比、人、熟練上シ、雇傭ス
 九、一月二十三日、ホル、ハルカス、比島行政府ヲ樹立セシ
 十、メ、軍政ノ下ニ、比島行政ノ實施ニ當ラシム

職	主務	官	氏名	記	事
司令長官		中將	杉山 六藏	補任	六三
參謀長		少將	近藤 恭一郎		六三
機關長		機大佐	真村 敏雄		六三
軍醫長		醫大佐	吉田 大助		六三

第三南遣艦隊機密第八號

菲島部隊戰鬥詳報 第一號

第三南遣艦隊戰鬥詳報 第一號

第一段第二期作戰
自昭和十七年一月三日
至昭和十七年一月二十日

第三南遣艦隊司令部

十月二十日
是日


1072

六五四三二一
功戰令經計形
績果達過畫勢

被報
害告
等

目

次

一 形勢

(1) 月初頭ニ於ケル菲島方面敵軍ノ情勢

(一) 米國亞細亞艦隊ハ我聯合艦隊ノ威壓ヲ受ケ其ノ大部ハ逸早ク蘭印諸島方面ニ避逃シ聯合諸國ノ艦艇ト合同シテ大勢挽回ヲ企圖シツアルモノノ如ク又敵航空兵力ノ開戦劈頭我海軍航空部隊ノ猛撃ニ依リ殆ンド全滅シテ菲島方面ノ制海制空權ハ既ニ概ネ我ニ歸セルモ敵潜水艦ハ依然活動ヲ續ケ又小艦艇一部ハ「マニラ」灣口要塞ニ據リ或ハ「ヒサヤン」叢島ノ海域ニ伏在シテ機ヲ見テ我ニ反撃ヲ加ントシツアリ當時推定セラレタル菲島方面敵海空軍殘存兵力概ネ左如シ

(1) 海上兵力

潜水母艦 (「ギヤノパス」)

敷設艦 ラシキモノ (一〇〇〇屯内外)

砲艦及掃海艇 ラシキモノ (八〇〇屯以内)

魚雷艇

潜水艦

一隻又

約四隻又

約六隻又

約二隻又

若干

(2) 航空兵力

「マニラ」湾口「コレヒドル」及「バタイン」半島東側「リマイ」各飛行場ヲ使用シ「セブ」島及「ミンダナオ」島方面ニ敵機アルコト確實ナルモ兵力不明

(3) 首都「マニラ」ハ一月二日我軍ノ占領スル所トナレリト雖我陸軍ノ進軍セシ「リンガエン」「マニラ」間及「ラモン」湾「マニラ」間主要道路附近並「コレカスピ」「ババオ」附近及「ホロ」島ノ外ハ依然悉ク敵ノ執力カ圈内ニ属スル「ミナラス」敵陸軍ノ主力ハ大ナル損害ヲ受クルモ無ク「バタイン」半島ノ險要ニ退却シ「マニラ」湾口要塞ト相俟ツテ我軍ノ同湾及「スビック」湾使用ヲ阻止シアリ又中南部方面ニモ相當有力ナル陸軍存在スルカ如ク漸次「ミンダナオ」島ニ集結シテ同島ニ據リ持久作戰ヲ行ハントシツツアルガ如シ
當時推定セラレタル敵陸軍兵力概ネ左ノ如シ
「バタイン」半島及「マニラ」湾口要塞方面
マックアーサーヲ將トシ米比軍ヲ合シ三萬乃至四萬

(イ)「ミンタナオ」島及「ピサヤン」諸島方面

米人將官ノ指揮スル約一千ノ米軍及約二萬ノ比島軍アリテ

「マライバライ」モシカイヨ「ゴタバト」サンボアガ「セブ」イロイロ

方面ニカ駐シアリ

(ロ)友軍ノ情勢

(一)二月三日新ニ第三南遣艦隊編成セラレ他ノ一部ノ兵力ト共ニ菲

島部隊トシテ同島方面海域ノ作戦及海上交通保護ノ任

ヲ第三艦隊ヨリ継承シ且局地ノ警備ニ任ズルト共ニ陸軍ト協

同シテ逐次菲島ノ殘敵掃蕩ニ任ズルトナレリ

(二)第三艦隊其ノ他蘭印諸島方面ノ作戦ニ從事スル我聯合

艦隊ノ兵力ハ菲島南部ニ集結シ着々次期作戦ノ準備

ヲ整正ヘツツアリ

(三)第十四軍ハ第六十五旅團ヲ以テ「バダーン」半島ノ敵ニ對抗セシ

メ第十六師團ヲ主トシテ「マニラ」附近ニ集結シテ殘敵掃蕩ノ

準備ヲ整正ヘシメ第四十師團ハ豫定計畫ニ從ヒ「リンガエン」

湾ヨリ蘭印方面ニ轉進準備中ナリ

二 計畫

(1) 作戰方針

(一) 連ニ敵殘存艦艇ヲ撃滅シ陸軍ト協力シテ灣口要塞ヲ回復
 滅ス為之連ニマニラ灣口附近ニ艦隊基地ヲ獲得シ灣口監視
 二便ナラシムルト共ニ要地ヲ占領又ハ攻撃シテ敵ノ海上補給線ヲ
 遮断ス

(二) 前項ノ作戰ニ次テ陸軍ト協力シ中南部地方ノ掃蕩作戰
 ヲ行フ

(三) 海上交通保護及島地ノ整頓ヲ續行ス
 (四) 前項ノ方針ニ基キ一月七日左ノ如ク兵力部署ヲ行ヘリ

西部隊	菲島	東部隊	菲島	主隊	區分	指揮官	兵力	力	主要任務
		口							
		3大F							
31089		32089							
31089 第一分遣隊	31089 八重山 53089	32089 吳特力カス七隊	32089 第一分遣隊	32089 51089	球				
陸軍ト協力シテ灣口方面ニ		艦隊基地ヲ獲得シ灣口監視		海上交通保護		全作戰支援		ニシテ敵ノ海上補給線ヲ	

		第三十六共同丸 第一測量隊 第三軍需部 第三工作部 第三選擇部 第三病院	
		四リンガニ海峽方面 五菲島側海面海上交通保護	
測量補給工作 医療 其他 各個有任務ニ服ス		第三南浦丸 第三阿蘇丸	
第三砲艦隊 (南浦丸 阿蘇丸)		八重山	
第三一 第三二 第三三		日球磨	
隊番號		艦船 (隊部隊) 番號	
一月六日現在第三南浦遺艦隊區分			

ハ) マニラ湾口水路啓開迄「マニラ」方面ノ輸送基地ヲ「リンガニ」湾トセル
 モ「リンガニ」湾「マニラ」間ノ陸上輸送長距離ニシテ「マニラ」湾口諸要
 塞陥落迄ニ相當ノ日數ヲ要シ「マニラ」湾口水路啓開ハ遷延ス
 ルモノト認め一月十三日陸軍ハ「スピック」湾「クランデ」島ヲトク領セル
 ヲ以テ一月十四日菲島部隊電令作第五號ヲ以テ「スピック」湾ノ
 水路ヲ啓開シ同湾ニ海陸軍補給運輸基地ヲ設定スルコトトセリ

(ニ) 艦隊區分

三 經過

兵力部署ノ变化

- (一) 一月九日 球磨ヲ一時菲島西部部隊指揮官ノ指揮下ニスル
- (二) 二月十五日 第四十六掃海隊(菲島部隊ニ編入セラレ之ヲ菲島西部

部隊ニ編入ス

(四) 各隊ノ經過概要

(一) 主隊

一月三日 第三南遣艦隊編成セラレ他ノ一部兵力ト共ニ菲島部隊トシテ從來ノ第三艦隊ノ菲島方面海域ニ於テ作戰任務ヲ継承スルニトナレリ

第三十特別根據地隊	二三四	第三十特別根據地隊
第三十一特別根據地隊	二三五	第三十一特別根據地隊
第二測量隊	二三九二	第二測量隊
第三十八共同丸	二三九三	第三十八共同丸
第一〇三軍需部		第一〇三軍需部
第一〇三經理部		第一〇三經理部
第一〇三工作部		第一〇三工作部
第一〇三病院		第一〇三病院

第三南遣艦隊司令長官一月三日大命ヲ拜シ菲島部隊指揮官トシテ一月五日輸送機ニテ東京發六月高雄ニ於テ球磨乘艦將旗ヲ掲揚セルモ菲島方面ノ作戰ニ関スル第十四軍ト打合シ「マニラ」方面海軍根據地ヲ急速設定ノ為九日輸送機三艦爆ヲ率井「マニラ」ニ進出セリ九月以降球磨ヲ一時菲島西部隊ニ編入同部隊ノ作戰ニ從事セシム

(三) 菲島西部隊

一月三日以降陸軍ト協同シ「マニラ」灣方面ノ殘敵掃蕩ヲ實施スルト共ニ「マニラ」方面海軍根據地ノ設定

「ズビック」灣ノ水路啓開及「リンガエン」灣ノ防備並水路嚮導守海上交通保護ニ任ジタリ
主ナル作戰經過左ノ通

一月十四日菲島部隊電令作第六號ニ依リ指揮官ハ球磨ニ時菲島西部隊ニ編入シテ率井「リンガエン」灣ヲ出撃シ「マニラ」灣沖ニ行動艦爆隊ト協同シ「マニラ」灣ヨリ脱走スル敵艦艇ノ捕捉撃滅ニ備フルト共ニ適時「ハタイン」半島西側敵陣地ヲ砲撃制壓セリ

第三砲艦隊 馬公警備府ヨリ新編入ノ第四十六掃海隊(第一小
 隊欠ニリンカエンニ未着ヲ俟テ)同日朝「スビック」湾外着
 直ニ菲島部隊電令依第五號ニ依ル「スビック」湾掃海ヲ開始
 セリ「コバト」半島西側敵砲台ヨリ猛射ヲ日月ニ果敢ナル掃海ヲ
 強行中拘束機雷爆發シ第五十六播州丸ハ機雷爆發ノ震動
 ニ依リ破孔ヲ生シ浸水ヒルモ應急處置ニ依リ任務遂行ニ差支ナキ
 ヲ得テ掃海中機雷ノ連續爆發ニ依リ敵ノ敷設機雷ハ特殊機
 雷ニシテ大掃海具ヲ以テスル掃海ハ危険ナルコト判明セシヲ以テ小
 舟艇ヲ以テ小掃海實施ノ要アリシモ當時「スビック」湾ニ利用シ
 得ベキ小舟艇無カリシヲ以テ大掃海具ニ依ル掃海ヲ再興セリ
 二十日第五十二播州丸及阿蘇丸ハ敵ノ猛射ヲ受ケツツ掃海ヲ強
 行中「グランデ」島西方海面ニ至ルヤ先ツ阿蘇丸次イテ第五十二
 播州丸觸雷シ阿蘇丸ハ前部損傷ノ船ヲ沈下センモ應急處
 置ニ依リ辛シテ沈没ヲ免レ第五十二播州丸ハ瞬時ニシテ沈没セリ
 右狀況ニ基キ小掃海具ニ依ル掃海計畫ヲ樹立シ測量艇及陸
 軍「ヤンマー」ヲ利用ハ重山機雷員及第二測量隊ノ部ヲ以テ

(三) 掃海ヲ實施シ二十三日迄ニスビツク灣東水道ノ啓開ニ成功セリ
菲島東部隊

一月三日以降警備隊主力ヲ以テ「タバオ」飛行場ノ警備ニ任ジ
急速飛行場整備ニ努ムルト共ニ部ヲ以テ「タバオ」周邊殘敵
掃蕩宣撫工作等ヲ實施シ「タバオ」中ヨリルボン「タバオ」東南
東約二〇哩「タバオ」灣東岸ニ至ル沿岸地區帯治安大ニ回
復セリ

主ナル戦闘(討伐)左ノ通

一月五日銃隊一ケ中隊及山砲一ケ小队(水偵ニ機抜カ)ヲ基幹ト
スル兵力ヲ以テ海上ヨリ(大發六隻使用)「イホ」タグム「タバオ」北
々東約二四哩及一七哩)方面、敗殘兵ノ掃蕩ヲ實施ス敵ノ抵抗
無シ

一月十一日銃隊一ケ中隊山砲一ケ中隊(一ケ小队欠)ヲ基幹トスル
兵力ヲ以テ海上ヨリ(大發六隻使用)「マンビシン」及「キンキン」(「タバオ」
北東一八哩及東北東一七哩)方面、殘敵掃蕩ヲ實施ス敵ノ抵抗
抗無シ同日第十六航空隊「タバオ」派連隊水偵「タバオ」灣口

附近ニ於テ敵潜水艦又ヲ發見之ヲ攻撃シ直撃手弾ニヲ得確實
 ニ撃沈セリ
 一月十六日第十六航空隊「カタカ」隊遣隊水偵二機ヲ以テ「マリタ」
 及「スラン」(「カタカ」)南約四〇哩江岸及「サラン」(「カタカ」)ヲ偵察
 攻撃シ同所ノ無線電信所ヲ破壊セリ

軍機

第三南遣艦隊機密第 一 號

海軍省防務局

昭和二十二年二月二十一日

一月廿日送付

7/10

第三南遣艦隊戰時日誌

第三南遣艦隊司令部

780T

目次

一 經過

二 人員ノ現狀

三 令達報告等

四 參考

(1) 麾下艦船部隊

(2) 戰訓

五 作戰經過概要

(終)

自昭和十七年二月一日第三南遣艦隊戰時日誌

作戰及一般部

經過

(一) 一般情勢

ハタン半島ゴレヒドル島方面

敵米比軍ハタン半島地帯ニ逐次嚴重ナル防禦陣地ヲ構築シ我軍ノ進撃ヲ阻止セシト企圖シアリ

艦隊ハリングガエニ灣作戰補給基地ノ一部ヲ速ニスビツク

ヲ移駐シ企圖シ一月十八日以降之ガ水路啓開作戰ヲ經續シ二月十日水道及泊地ノ掃海ヲ略完了セリ

午後陸軍舟艇ニ依ルバタン半島西岸迂回上陸部隊ニ協同極力強行セルモ敵ノ防備嚴重ニシテ成果ヲ得ズ

艦隊ハマニラ灣口ヲ嚴重封鎖シアリ

<p>第一特別 根據地隊</p>	<p>三 三 四</p>	<p>(一) 第一特別根據地隊 (二) 第一特別根據地隊 (三) 第一特別根據地隊</p>	<p>二 三 二</p>	<p>八重山 球麻名</p>	<p>艦隊區分 (二月一日附)</p>	<p>機密菲島部隊命令作第五號別紙第二如シ</p>	<p>敵軍「情報」</p>	<p>敵軍「情報」 敵軍「情報」 敵軍「情報」</p>
----------------------	----------------------	---	----------------------	--------------------	---------------------	---------------------------	---------------	-------------------------------------

附屬

第三十特別
根據地隊

三九三
三九四

<p>石狩丸</p>	<p>第三十六共同丸</p>	<p>第二測量隊</p>	<p>(五) 第三十二航空隊</p>	<p>(四) 第五驅潛隊 (下第東光丸 第十二京丸 第十三京丸)</p>	<p>(三) 欽</p>	<p>(二) 第一砲艦隊 (下慶興丸 武昌丸)</p>	<p>(一) 敬言備隊</p>	<p>(七) 第三十一通信隊</p>	<p>(六) 第三十一航空隊</p>	<p>(五) 第五十三驅潛隊 (下興嶺丸 第二京丸 第十京丸)</p>	<p>(四) 欽</p>
<p>第百三經理部 第百三軍需部</p>											

<p>菲島 東部隊</p>	<p>主隊</p>	<p>區分</p>	<p>(二)軍隊區分</p>
<p>3288</p>	<p>指揮官</p>	<p>指</p>	<p>分</p>
<p>3288 3288 198 警司令部 5188 警備隊</p>	<p>直率</p>	<p>兵</p>	<p>主要任務(菲島部隊)二月一日附</p>
<p>三三基地氣象班 五氣象通報 四海上交通保護 三主要港灣防備 二敬言 一敵掃蕩作戰</p>	<p>力</p>	<p>全作戰支援</p>	<p>主要任務</p>
<p>南洲担任區域 度(三三八度)線以 結(No. 1)ラ結(五 島西端)及(ハ 端)カズルア 端(ガズルア)及(ハ</p>	<p>磨</p>	<p>担任區域</p>	<p>担任區域</p>

第百三工作部 第百三病院
第二氣象班 第三氣象班 第六氣象班
第七氣象班 第八氣象班

6901

部隊 附屬	菲島 西部隊
	□ 3KF
直率	旗 31B9
第三百三軍需部 第三百三經理部	31B9 敬言備隊部 司令 3159 3G9 3109 53dg 46ng 八重山 第二測量隊 第三十六共同丸 三基地氣象班 吳一特レクス 五測 六氣象通報量 七派遣隊
補給經理	二警備 三主要港灣防備 四海上交通保護 一敵掃蕩作戰 担任區域内
	担任區域 同右、線以北、3KF

3

補給		第百三工作部	
部隊		第百三病院	
		工作、醫藥	
石狩丸		給炭油	
さくら丸			

備考

中旬ニ於テ水雷艇鴻雉、夫々海南警備府及第二遣支艦隊ヨリ菲島部隊ニ編入サレタルヲ以テ西部部隊ノ指揮下ニ入ラシム

駆逐艦栗ニテ七〇リシカエニ湾着當隊編入西部部隊ノ指揮下ニ入ラシム

(ホ)作戦指導

バタン半島、ゴレヒドル島攻略作戦ニ對シ速ニスビック湾ヲシテ作

戦補給基地ヲラシムベク敵ノ阻止妨害ヲ排除シツツ水路啓開
 ヲ強行シ二月十日略水道及泊地ノ掃海ヲ完了セリ敵米比軍ハ
 セブヲ補給基地トシテ依然マニラヲ湾口要塞ニ對シ内海小橋
 ヲ利用シ補給ヲ繼續シアル状況ナルヲ以テ之ガ完全遮断
 爲二月二十六日「ミンドロ島」ボートガルラ及カラパン港ニ對シ
 艦艇及陸戦隊ノ一部ヲ以テ之ガ攻略同時ニ敵ノ補給路遮
 断並ニ我海上交通保護ノ目的ヲ以テ二月十七日「ミンドロ島」
 「サンボアング」港攻略作戰ヲ開始シ三月二日之ヲ完全攻略セリ

ハ) 戦備及政策事項

マニラ及「ダバオ」ニ於ケル航空基地ノ整備拡充ニ努ム
 第二測量隊ノ一部ヲシテ「マニラ」ニ進出、港灣及沈船川橋ニ對
 スル測量ヲ開始セシメタク

マニラ方面根據地施設トシテ敵産ヲ押収シ經理部軍需部建築部病院工作部ノ設置ニ努ム

人員現狀

司令部
職員官氏名

職	主務	官	氏名	記
司令長官		中將	杉山六郎	
參謀長		少將	近藤泰一郎	
機關長		機大佐	奥村敏雄	
軍醫長		醫大佐	吉田大助	
主計長		主大佐	山沖芳市	

事

二	一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	目
												球
												磨
												八重山
												南浦丸
												木曾丸
												阿蘇丸
												興山丸
												第ニ京丸
												第ニ京丸

四参考の麾下艦船部隊行動

第三十一特別根據地隊

三砲艦隊

五十三駆潜隊

リガンエ湾

高雄

ス

リガンエ湾

リガンエ湾

リガンエ湾

7

二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	一〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三
		〇七〇〇	スビツク湾	〇九三三〇	湾ニエガニリ										
アエルトガレラ	一三五〇	リニガエニ湾	〇八〇〇	サニフェルナンド	〇八三〇	オロンガボ	一七〇三五	オロンガボ	〇九五〇	リニガエニ湾	一〇八〇〇	〇八三〇	オロンガボ	〇八五〇	〇九三五
サニフェルナンド	一三八五〇	サニフェルナンド	一八五五〇	サニフェルナンド	一八五五〇	サニフェルナンド	一三五五〇	スビツク湾	一五三〇	サントトマス	一四〇〇	スビツク湾	一八〇〇〇	スビツク湾	〇八四〇
サニフェルナンド	〇七二五	サニフェルナンド	一五二五	サニフェルナンド	一六五五	サニフェルナンド	〇七五五	サントトマス	一〇〇〇	スビツク湾	一五三〇	スビツク湾	一〇一〇	スビツク湾	〇八二五
湾クツ															
〇五三〇	湾ニエガニリ	一五五〇	〇七四八	湾ニエガニリ	一九三〇〇	湾ニエガニリ	一五五〇	〇九三〇	湾ニエガニリ	一五五〇	〇九三〇	湾ニエガニリ	一五五〇	〇九三〇	湾ニエガニリ
スビツク湾	一七二九	カラパン沖	〇二五〇	〇一五五	〇九〇九	一三五四	湾ニエガニリ	一四七五	オロンガボ	一五五〇	一五五〇	一五五〇	湾ニエガニリ	一五五〇	湾ニエガニリ
カラパン沖	〇四〇〇	〇二〇〇	〇二〇〇	〇二〇〇	〇二〇〇	一三五〇	湾ニエガニリ	〇七三〇	湾ニエガニリ	一九三〇	湾ニエガニリ	一九三〇	湾ニエガニリ	一九三〇	湾ニエガニリ

二 八	二 七	二 六	二 五	二 四	二 三	二 二	二 一	二 〇	一 九	一 八	一 七	一 六	一 五	一 四	一 三
二〇〇〇	ダ バ オ	一〇 九 五 〇	ダ バ オ	一 三 〇 〇	ダ バ オ	一〇 九 三 〇	ダ バ オ	一〇 九 三 〇	ダ バ オ	一〇 八 〇 〇	ダ バ オ	一〇 二 八 〇 〇	ダ バ オ	一 二 六 三 〇	
二〇〇〇	ダ バ オ	〇〇 九 二 五 一 八	ダ バ オ	〇〇 七 九 四 五	ダ バ オ	一〇 九 〇 六 七	ダ バ オ	一 一 〇 四 五 一 四	ダ バ オ	一〇 七 五 一 六 四	ダ バ オ	一〇 一 五 七	一 〇 八 〇 四	オ	
一 二 一 五 五〇	ダ バ オ	〇〇 九 一 三 五〇	ダ バ オ	一〇 九 三 五 二〇	ダ バ オ	一〇 一 九 一 七 五	ダ バ オ	一 一 二 五 四〇	ダ バ オ	一 一 二 五 四〇	ダ バ オ	一 一 二 五 四〇	ダ バ オ	ダ バ オ	
一 二 〇 〇	ダ バ オ	一〇 〇 五 三 〇	ダ バ オ	一〇 三 六 三 〇	ダ バ オ	一 一 〇 四 五 〇	ダ バ オ	一 一 三 四 五 〇	ダ バ オ	一 一 三 四 五 〇	ダ バ オ	一 一 三 四 五 〇	ダ バ オ	一 三 二 〇	
二 二 〇 〇	ダ バ オ	一〇 一 九 四 五	ダ バ オ	一〇 一 九 三 三 〇	ダ バ オ	一 一 〇 〇 五 〇	ダ バ オ	一 一 三 一 五 〇	ダ バ オ	一 一 三 一 五 〇	ダ バ オ	一 一 三 一 五 〇	ダ バ オ	一 一 二 四 〇 〇	
	スピ ック 湾	一 八 〇 六		一 七 〇 〇		高 雄		一 八 二 五		一 八 〇 〇		湾 フ ツ			

1097

一	一	一	一	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日
ス													
ツ													
同													
同													
雉 在													
鴻													
栗													

第五十六番州丸
 第四十六掃海隊
 第十八長運丸
 第十九長運丸
 第二十長運丸

9

二 六	二 五	二 六	二 七	二 四	二 三	二 二	二 一	二 〇	一 九	一 八	一 七	一 六	一 五	一 四	
灣 7															
上															
上															
〇 二 〇 〇		〇 二 〇 〇		〇 二 〇 〇		〇 二 〇 〇		〇 二 〇 〇		〇 二 〇 〇		〇 二 〇 〇		〇 二 〇 〇	
リ ニ ガ エ ン 湾		〇 三 〇		〇 三 〇		〇 三 〇		〇 三 〇		〇 三 〇		〇 三 〇		〇 三 〇	

1039

軍機

第三南遣艦隊機密第八號二

以海軍省印長殿

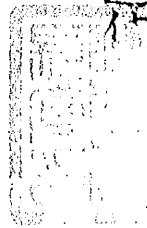
菲島部隊戰鬥詳報 第二號

第三南遣艦隊戰鬥詳報 第二號

第一段第三期作戰 自昭和十七年一月二十四日
至昭和十七年三月九日

第三南遣艦隊司令部

十月十一日送付



工字工
印刷自
二二
二二

小説
版
放

0011

七六五四三二一
參功戰令經計形

考績果達過畫勢

被報
害告
等

目
次

(目次終)

一 形勢

(イ) 月下旬ニ於ケル菲島方面敵軍ノ情勢

(一) 菲島方面殘存敵海上及航空兵力ハ月初頭ト大ナル變化

無ク敵潜水艦ハ依然然菲島海域ニ出没活動ヲ續ケ又小艦艇

一部ハマニラ湾口要塞或ハヒサヤ叢島ニ伏在シ機ヲ窺ヒツ

ツアルモ我艦隊ノ壓迫ヲ受ケ其ノ行動活潑ナラサルノミナラス一

部艦艇ハ逃走ヲ企圖シアルモノ如シ

殘存敵機ノ行動モ亦一般ニ消極的ニシテ見ルベキモノナシ

(二) バターン半島マニラ湾口要塞方面ノ敵ハ我陸軍ノ攻撃ニ依リ

幾分退却セルモ天險ト要害ヲ恃ミ菲島南方諸島ノ殘敵ト

相呼應シ頑強ニ抵抗ヲ繼續シツアリ

(四) 友軍其他一般情勢

(一) 菲島西部隊掃海部隊ハ猛烈ナル敵砲火ヲ冒シ果敢ニ掃

海ニ依リスビツク湾水路啓開ニ成功シ補給運輸基地ヲリン

ン湾ヨリオロンガホニ進出セリ

(二) マニラ「バオ」方面海軍根據地施設準備著々進捗シツアリ

(三) 菲島南部ニ集結セル第三艦隊及蘭印諸島方面作戰部隊ハ逐次南下シ各方面作戰ハ極メテ順調ニシテ戰果ヲ擴大中ナリ

(四) バターン半島方面ノ敵ハ意外ニ頑強ニシテ第十四軍ハ第十六師團ヲモバターン半島方面ニ轉用シ半島西側ニ第六師團(七大隊)ヲ東側ニ第六十五旅團(五大隊)ヲ配シ西側ヲ主攻撃正

面トスル如ク兵力ヲ移動攻撃準備中ナリ又第四師團ハ豫定計畫通りシカエシ湾ヨリ蘭印方面へ轉進準備ヲ略完了セリ

ニ計畫

作戦方針

(一) 敵輸送路ヲ遮断シ且敵艦艇ノ脱出ヲ防止スル為敵艦艇ヲ全滅

捕撃破シ菲島南方要地ヲ占領シ且マニラ湾口封鎖ヲ益強化ス

(二) マニラ湾口要塞ニ對シ陸軍ノ攻撃ヲ呼應シ海軍機ヲ以テ爆撃

隊	名	隊番號	艦船(隊部隊)番號
(一)	二月二十四日現在 第三南遣艦隊 艦隊區分	二三一一	口球磨
		二三一二	八重山
		二三三三	第三砲艦隊(南浦丸(2)木曾丸(3)防蘇丸)
	第三十特別根據地隊	二三三四	第三十特別根據地隊
	第三十一特別根據地隊	二三三五	第三十一特別根據地隊
		二三九〇	第二測量隊
		二三九一	第三十六共同丸
附屬		二三九三	第百三軍需部 第百三工務部

- (一) 艦隊區分
- (二) 海軍根據地諸施設ノ整備ヲ促進ス
- (三) 速ニスビツク「湾掃海ヲ完了シ今基地ヲ活用ス
- (四) 敵潛ヲ掃蕩シ海上交通ヲ確保ス
- (五) 加へ之が陷落ヲ促進ス

<p>二月 月現在 第三南邊艦隊</p>	<p>第三百經理部 第三百病院</p>
<p>隊名</p>	<p>艦番號</p>
<p>二三一</p>	<p>口球磨</p>
<p>二三二</p>	<p>八重山</p>
<p>第三特別根據地隊</p>	<p>二三四</p>
<p>第三十二特別根據地隊</p>	<p>二三五</p>
<p>(一) 警備隊 (二) 第一砲艦隊 (百慶興丸 武昌丸) (三) 缺 (四) 缺 (五) 第三聖護隊 (百與嶺丸 第百京丸 第百土京丸) (六) 第三上航空隊 (七) 第三通信隊</p>	

5011

主隊	區分	指揮官	直率兵	力主	要任務	(一) 兵力部署 二月二十四日現在菲島部隊兵力部署	附屬	三三九ノ二 三三九ノ三 三三九ノ四	第五土駐海隊 第六土駐東光丸 第七土駐高丸 第八土駐... (五) 第三土航空隊
磨一全作戰支援 一分隊「ホスビ」ホスビ確保									

二月一日現在菲島部隊兵力部署

<p>附屬部隊</p>	<p>菲島 西部 部隊</p>	<p>菲島 東部 部隊</p>
<p style="text-align: center;">□ 3KF</p>		
<p style="text-align: center;">△ 31ABg</p>		<p style="text-align: center;">△ 32ABg</p>
<p>第三十六團丸第二團 量隊 第二團 軍需部 第一團 經理部 第二團 菲島 第一團 醫院</p>	<p>53chg 46chg 310g 第一分遣隊 31ABg 3Gg 八重山</p>	<p>322g 吳特レカ島分遣隊 322g 51chg 322g 第一分遣隊</p>
<p>測量補給工作 醫療 其他各個 有任務</p>	<p>四リンカエン灣ノ防備 三菲島西側海面ノ海上交通保護 三マニラ灣方面根據地設定及海面防備 二マニラ灣方面水路啓開及灣内掃揚 一マニラ灣以下做之殘敵掃揚</p>	<p>一陸軍ト協同マニラ灣方面(ソビツク)掃ラ合ム以下做之殘敵掃揚 二マニラ灣方面水路啓開及灣内掃揚 三マニラ灣方面根據地設定及海面防備 四補給</p>

菲島 西部隊	菲島 東部隊	主隊	區分
□ 3K/F		指揮官	
▽ 31ABg	▽ 32ABg	直率	兵
八重山 31ABg 司令官部 警備隊 31Hg 3Gg 31cg 53chg 46Hg 吳符か台 遺	三三基地氣象班 32ABg 司令官部 警備隊 32Hg 1Gg 51chg	球 磨力	主要任務
担任区域内ノ 一敵掃揚作戦 二警備 三主要港灣ノ防備 四海上交通保護 五測量	三氣象通報 四海上交通保護 三主要港灣ノ防備 二警備 一敵掃揚作戦	全作戦支援	担任區域
同右線以北ノ担任區域	三三度線以南ノ担任區域 及「ナイ」島南端「ナン」岬（ニエラ）ヲ結ぶ五八度三三度線以南ノ担任區域	「マ」島南東端カ「ス」岬（Cadmocap）	担任區域

四月二十五日左ノ兵力部署トナシ陸軍ト協同シシンドロ自島北東部及 對潜警戒隊 掃海隊 主隊 區分指揮官 兵力 主要任務	對潜警戒隊 掃海隊 主隊	區分指揮官 兵力 主要任務	三月七日左ノ兵力部署ヲ發令陸軍土橋兵團主力ヲ護衛シ十日 護衛終了後之ヲ解除セリ	補給部隊 直率 第三測量隊 第三共同丸 三〇基地氣象班 第三百三軍需部 第三百三經理部 第三百三作部 第三百三病院 石狩丸 給炭油	補給 經理 工作 醫療	六氣象通報
	對潜警戒隊 掃海隊 主隊	區分指揮官 兵力 主要任務	三月七日左ノ兵力部署ヲ發令陸軍土橋兵團主力ヲ護衛シ十日 護衛終了後之ヲ解除セリ	補給部隊 直率 第三測量隊 第三共同丸 三〇基地氣象班 第三百三軍需部 第三百三經理部 第三百三作部 第三百三病院 石狩丸 給炭油	補給 經理 工作 醫療	六氣象通報

第一	主	區	分	指揮官	兵力	主要任務
護衛隊	隊		指揮官	球磨 雜	全作戰支援	陸戰隊陸軍部隊輸送
第一	主	區	分	指揮官	兵力	主要任務
護衛隊	隊		指揮官	球磨 陸戰隊	全作戰支援	對海警戒陸戰協力
第一	主	區	分	指揮官	兵力	主要任務
航空隊	隊		司令	球磨 陸戰隊	輸送船隊直接護衛	要地占領基地設營
陸戰隊	隊		指揮官	球磨 陸戰隊	輸送船隊直接護衛	要地占領基地設營

南西部、要點ヲ占領マシテ湾ノ封鎖ヲ強化セリ(主隊南方ニ向ケシトロ島北東部ヲ發進時ヨリ第一攻略部隊指揮官ハ菲島西部隊指揮官トナル)

(五) 三月二十七日左ノ兵力部署ヲ以テ「ガボアン」ヲ攻略シ菲島南方海面ヲ制壓掃蕩及菲島南方諸島戦定作戦ヲ有利ナラシム

0111

三 經過

(イ) 兵力の変遷

(一) 二月一日 兵力増勢方ニ伴ヒ今日菲島部隊兵力部署ヲ改編ス
 (二) 二月十三日 雑及鴻八洲長官ノ指揮下ニ入り兩艇ヲ菲島西部部隊ニ編入ス
 (三月十六日 スピツク灣着)

(三) 二月二十五日 栗八洲長官ノ指揮下ニ入り同艦ヲ菲島西部部隊ニ編入ス
 (四) 三月六日 響(響)曉(雷電)八洲長官ノ指揮下ニ入り同隊ヲ菲島部隊主隊ニ編入ス
 (三月十日 響曉 三月十二日 雷電 何レモスピツク灣着)

要隊ノ經過概要

(一) 主隊 自二月二十四日 及 自三月十四日 尸球磨 至二月七日 尸球磨 八重山 至三月九日 尸球磨 雑
 一月二十四日 球磨ヲ主隊ニ復皈シ左ノ通作戦セリ

攻	航空部隊			
隊	陸戰隊			
		P 32243g		
司令官所定	司令	32200g	3225g	
32200g	3225g	5100g	(特設隊一欠)	
要地占領 基地設営	對潜警戒 陸戰協力	掃蕩掃場		

(1) 一月二十八日ヨリ今三十日迄「バタイン」半島西方海面ニ行動敵艦艇ノ脱出ニ備ヘタリ

(2) 二月八日機密菲島部隊命令作第三號ニ依リ主隊(「地球磨」八重山)「カリン」灣發第五十三駆潜隊及艦爆隊ト共ニ蘭印部隊第第一衛隊(第四水雷戰隊)ニ協力ス作戦ニ移轉ノ土橋兵團(第甲中隊團)主力ノ輸送船「カリン」灣ヨリアポ「水道」迄護衛シタル後主隊(「地球磨」)二月十日「バタイン」半島西側カイボホ岬ノ敵陣地ヲ砲撃ヲ制壓シ各方面ニ作戦中ノ陸軍ヲ支援セリ

(3) 二月二十六日機密菲島部隊命令作第五號ニ依リ海陸軍協同ノ下ニ「シンドロ」島北部要衝攻略ノ為主隊(「地球磨」)輸送船隊ニ引續キ「スビック」灣ヲ出撃第第一攻略部隊ヲ支援シ翌二十七日未明陸戰隊ハ「エルトカレラ」ヲ陸軍ハ「ガラパン」ヲ夫々占領セルヲ海峽ノ監視ヲ行ヒ「マニラ」灣ヲ封鎖ヲ強化セリ

○ 雑「バルテ」海峽ヲ監視警戒中「コレヒドール」島ヲ出港セバ「三回航中」ノ「コランブカン」號ヲ拿捕シ船ヨリ「マニラ」灣ヲ諸要塞關係有力

資料ヲ押收シテ後、作戰ヲ極メテ有利ナラシメタリ

(4) 二月二十七日主隊(口球磨、雄)ハ「エルトカレラ」占領後、球磨陸戰隊ヲ收容「ベルデ」海峡發主隊(雄)ハ「セア」方面ノ索敵掃蕩ヲ行ヒ三月一日未明「セア」港外哨戒中、敵監視艇一隻ヲ撃沈拂曉セ「港」近接倉庫及敵船ヲ砲撃セリ此間雄ハ「シタナオ」海南部沿岸ヲ行動敵商船五隻ヲ撃沈破セリ

(5) 三月一日午後主隊(雄)ハ「雄」ヲ合同第一攻略部隊ヲ支援三月二日未明「カボアン」カ「ヲ急襲敵ハ頑強ニ抵抗セルモ遂ニ之ヲ占領菲島南方諸島數定、據點トシテ又南方海域ニ對スル交通線確保上ノ要衝トシテ作戰上資スル所大ナルモノアリ

三 菲島西部隊

第二期作戰ニ引續キ「スビツク」灣ノ水路警戒リ「カエン」灣及「スビツク」灣哨戒「マニラ」灣口ノ封鎖監視竝ニ海上交通保護ニ任ズルト共三都(二月一日ヨリ十日迄「バギン」半島西側ニ於ケル陸軍)ノ作戰ニ協力セリ
主ナル作戰左ノ通

(1) スピック湾水路啓開ハ東水道ヲ二月十日ニ西水道ヲ二月十四日ニ

夫々完了處分機雷計ハ二個

(2) 一月下旬ヨリマニラ港ニ於ケル押收舟艇ヲ以テ砲艦隊ヲ編成

マニラ湾内哨戒ニ任ジバンガ州(マニラ市北方)方面トバターン

半島及マニラ湾内要塞ト敵海上交通及補給ヲ遮断セリ

(3) 二月十九日木曾丸ハスピック湾外ニ於テ敵潜水雷艇ヲ又ケ直ニ

之ヲ攻撃シ多量ノ油ヲ湧出セシメ其ノ効果略確實ナリ我被害

ナシ

(4) 二月二十七日機密菲島部隊命令々作第五號ニ依ルシンドロ島北

東部要點トシ領及西部隊ノ兵力増強(雉鳩栗ノ編入)ニ依リ

ヨニラ湾ノ監視竝ニ封鎖ヲ強化シ敵船舶ノ拿捕撃破努力

メ左ノ成果ヲ擧ゲタリ

(a) 三月一日八重山鴻ハレガスビシ號ヲ撃破火炎上ス

(b) 三月一日八重山ハレガスシ號ヲ三月七日栗ハレギユラスシ號ヲ夫々拿捕ス

(c) 右ノ外シンドロ島及バラワン諸島附近ニ於テ敵商船ヲ二隻又

爆撃火火トス

(5) 三月二日敵戦闘機三機「スピック」湾附近ニ来襲我防禦砲火ニ依リ之ヲ撃攘シ其一機ヲ墜シ陸セリ其ノ際第一東京丸ハ被弾沈没ス

(三) 菲島東部隊
「ムバオ」周辺ノ残敵掃蕩「ムバオ」湾ノ對潜警戒戒海ニ交通保護ニ

任シタリ

主ナル作戦左ノ通

(1) 二月三日観測機二機ヲ以テ「モンカヨ」(「ムバオ」北東約五〇哩)方面ノ偵察攻撃ヲ實施シ敵兵舎及軍工事施設ヲ大破セリ

(2) 二月四日「マウス」附近ニテ我將校斥候二箇小队戦車一ノ敵約三〇ト交戦約一時間ニシテ敵ヲ北方ニ潰走セシメタリ

(3) 二月二十八日観測機(二機)「ハッブアン」及「カカヤン」(「ミンタナオ」島北岸)方面ノ偵察攻撃ヲ實施シ二〇〇〇吨級貨物船及五〇吨級

小型商船各一隻ヲ大破炎上セシム

(4) 三月二日主队支援ノ下ニ「サソホアン」ガ攻略ヲ實施シ敵頑強ナル抵

抗ヲ排除シ上陸ニ成功シテ完全ニ占領監禁中ノ邦人婦女子ヲ
 救出セリ
 今地ハ占領後屢々敗殘兵ヲ来襲アリタルモ敵ニ多ク大損害ヲ
 與ヘ何レモ退セリ